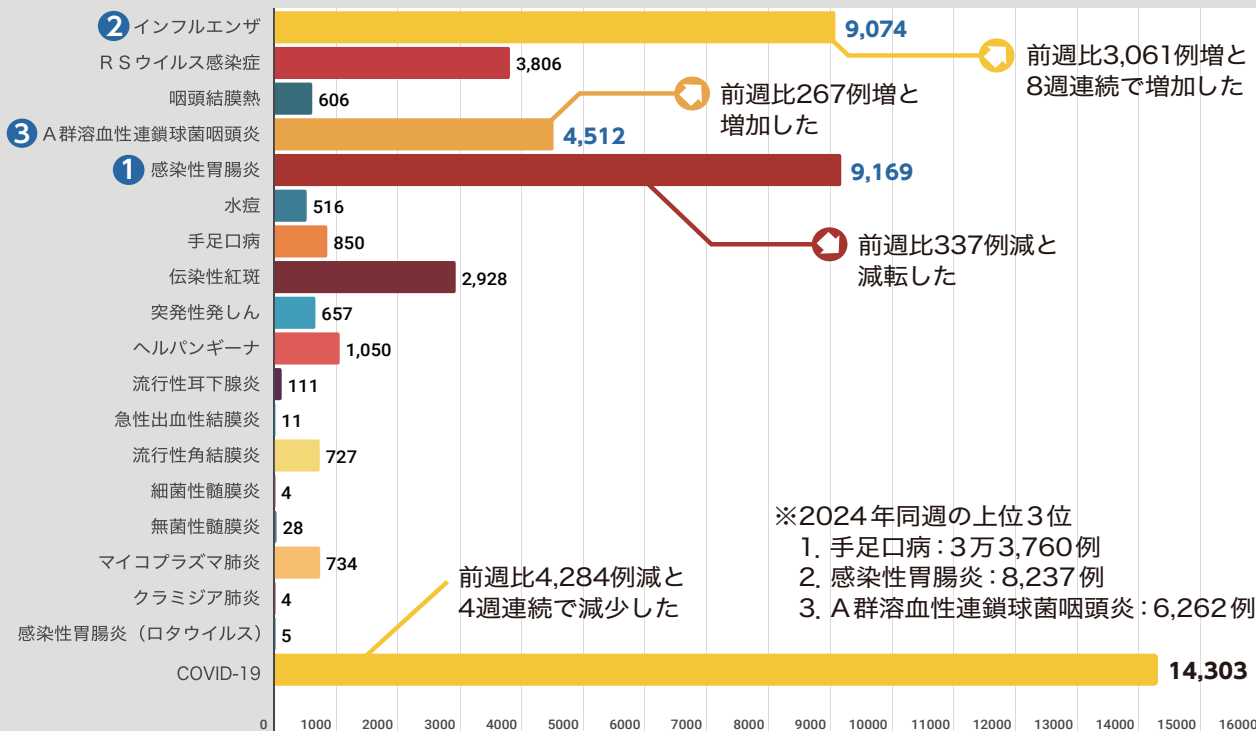




国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイトが発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

インフルエンザ9千例超え、伝染性紅斑は12県で警報レベル

丸数字は上位3位 ※COVID-19は除く



(国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイトのデータを基に編集部作成)

① 感染性胃腸炎

報告数

1. 東京都: 1,151例
2. 大阪府: 637例
3. 神奈川県: 524例

定点当たりの報告数(3.92)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 群馬県: 8.04 | 4. 岐阜県: 6.44 | 7. 岩手県: 5.81 | 10. 福井県: 5.08 |
| 2. 大分県: 7.19 | 5. 宮崎県: 6.33 | 8. 奈良県: 5.54 | 11. 香川県: 5.04 |
| 3. 石川県: 7.14 | 6. 島根県: 6.00 | 9. 福岡県: 5.24 | 12. 愛媛県: 4.80 |

② インフルエンザ

報告数

1. 東京都: 1,981例
2. 神奈川県: 1,015例
3. 千葉県: 756例

定点当たりの報告数(2.36)

- | | | | |
|---------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 沖縄県: 14.38 | 4. 千葉県: 4.20 | 7. 大分県: 2.72 | 10. 長崎県: 2.29 |
| 2. 東京都: 4.76 | 5. 埼玉県: 3.92 | 8. 京都府: 2.61 | 11. 福岡県: 2.14 |
| 3. 神奈川県: 4.21 | 6. 宮崎県: 3.21 | 9. 島根県: 2.50 | 12. 奈良県: 2.12 |

③ A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

報告数

1. 東京都: 538例
2. 神奈川県: 316例
3. 千葉県: 309例

定点当たりの報告数(1.93)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|----------------|
| 1. 愛媛県: 5.30 | 4. 京都府: 3.74 | 7. 千葉県: 2.81 | 10. 滋賀県: 2.29 |
| 2. 栃木県: 3.93 | 5. 鳥取県: 3.53 | 8. 埼玉県: 2.77 | 11. 神奈川県: 2.24 |
| 3. 茨城県: 3.87 | 6. 福岡県: 3.09 | 9. 山口県: 2.65 | 12. 北海道: 2.22 |

今週の感染症動向

感染性胃腸炎は前週比337例減と減転した。インフルエンザは前週比3,061例増と8週連続で増加した。定点当たりの報告数が最も多い沖縄県(14.38)は注意報レベル(10.00)を超え、前週の12.18からさらに上昇した。A群溶血性連鎖球菌咽頭炎は267例増と増加した。COVID-19は前週比4,284例減と4週連続で減少し、1万5,000例を下回った。定点当たりの報告数が7を上回った地域はなく、最高は宮崎県の5.32で、大分県(5.21)、新潟県(5.20)、愛知県(5.20)と続いた。この他、伝染性紅斑が多数報告されている。定点当たりの報告数は佐賀県(5.92)で最も多く、宮崎県(4.13)、愛媛県(3.90)、鹿児島県(3.68)と続き、西日本を中心とした12県で警報レベル(2.00)を超えていた。